

令和 2 年 5 月 7 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(A) (海外学術調査)

研究期間：2015～2018

課題番号：15H02599

研究課題名(和文)ポスト紛争期における社会の再編—南アジアの事例から

研究課題名(英文)Reconstitution of Society during Post-conflict Period: Case Studies in South Asia

研究代表者

藤倉 達郎 (Fujikura, Tatsuro)

京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

研究者番号：80419449

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 25,200,000円

研究成果の概要(和文)：研究代表者・分担者のみならず、ネパール、スリランカ、インド、バングラデシュ、パキスタンを始めとするさまざまな国の研究者や人権活動家、ジャーナリストなども参加し、議論を重ね、発展させてきた。2015年にネパールで発生した大規模な地震の後には、ポスト災害期に顕在化する社会的紛争の様相も視野に入れ、ポスト災害/紛争期の社会の再編というより拡大した枠組みでの議論を行ってきた。この研究の成果として多くの論文がすでに出版されているほか、2018年のカトマンズにおける「平和的發展」についてのシンポジウムにおける議論を発展させた英文論集が近く出版される予定である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

南アジアにおける暴力的紛争(武力革命闘争、民族紛争、宗教紛争)とポスト紛争期の社会の動態について、文化的・法的・政治経済的視座から比較的かつ総合的に共同研究を行い、南アジアにおけるケアや弔い、民主制や多数派支配、包摂と排除の現代的諸相を明らかにすることができた。この過程において、ネパール、スリランカ、インド、バングラデシュ等の研究者や社会活動家とも議論を重ねることによって、このような課題に関する国際的な学術ネットワークの構築・発展にも貢献した。

研究成果の概要(英文)：The project has involved not only the principle investigator and co-investigators but also through numerous workshops and symposiums, scholars, activists and journalists from Nepal, Sri Lanka, India, Bangladesh and Pakistan. The research and arguments developed through this project has resulted in multiple articles. A collected volume, titled The Dynamics of Conflict and Peace in Contemporary South Asia: The State, Democracy and Social Movements, which is a result of the symposium co-sponsored by this project in Kathmandu in 2019, will be published soon.

研究分野：人類学、地域研究、南アジア

キーワード：紛争 暴力 移行期の正義 弔い ネパール インド スリランカ ヒマラーヤ

## 1. 研究開始当初の背景

グローバル化が急速に進展した 20 世紀終盤は、集団間の大規模な暴力衝突が多発した時代でもあった。モノ・金・人の高速な移動による国民国家のゆらぎのなかで起こる、これらの暴力の特性の解明とそれを乗り越える術の模索は喫緊の学問的・実践的課題となっている (cf. アパドゥライ 2010)。グローバル化は、従来抑圧されていた諸集団の台頭をもたらすことがある一方で、そうした社会秩序のゆれに対して多数派主義的な強い弾圧がしばしば起こる。大規模な暴力衝突は、秩序再編が通常の法的・政治的手続きや社会的な交渉では不可能だったことを意味し、隠されていた差別や抑圧などの問題を顕すと同時に、従来の価値や制度の再編の必要を示唆する。ポスト紛争期社会の研究は、暴力紛争を通じた地域の問題の公共化を明確に捉え、記憶や制度の見直しを通じていかなる新たな地域秩序が生まれているかを動的に理解するために有用である。ネパールでは、1996 年にネパール共産党 (毛派) が「人民戦争」を開始したが、2006 年に毛派と議会政党が国王専制に対する民主化運動で共闘することによって紛争は終結した。その後の 2008 年に行なわれた制憲議会選挙において毛派は第一党となった。内戦の時期を通じて多くの民族・カースト集団が自己組織化し権利の主張を強めたことから、現在、ネパール社会の文化的多元性を反映するような憲法と連邦制の在り方が議論されていることが着目される。スリランカでは、1983 年から 2009 年まで、政府軍とタミル・イラーム解放の虎 (LTTE) の間で内戦があり、政府軍による LTTE の制圧という形で終結した。スリランカ政府はこれを対テロ戦争の成功例とする。政府は LTTE 戦闘員の追悼を禁じる一方、国家主導の慰霊式典や記念碑の建設による (選別された) 戦没者の追悼を通じた国民統合の試みを行っている。またシンハラ人による戦跡ツーリズムや、海外の観光客の呼び込みが、戦後経済復興の重要な柱と位置づけられている。インドでは、1980 年代以降から宗教紛争とカースト紛争が頻発して、多くの犠牲者と国内避難民を生んだ。低カーストの社会・政治的台頭とそれへの高カーストによる抑圧がカースト紛争に発展する一方で、ヒンドゥー主義者はカーストを超えたネーションの統合を主張し、ムスリムやキリスト教徒を他者化した。現在、モディ政権下のインドでは、多数派 (カースト・ヒンドゥー) 主導による強権支配と上からの経済発展が目指されており、それへの批判や反発も盛んである。このように、ネパールでは多くの社会集団のあいだの交渉と妥協を実現し、多様性を包摂するネーションの物語と制度の構築が最大の課題となっている。一方、スリランカでは政府による、より単一的なナショナリズムの構築と上からの経済発展政策が強力に進められている。インドでは長期にわたるインド国民会議派政権下において、現在のネパールのように、社会集団間の交渉と配慮の実現が目指されていた。しかし、そのような多元的民主主義は非効率であり経済発展を妨げるとい主張が、紛争を過去のものとし、経済成長を至上命題とするスリランカに近似した政策への支持を生んだともいえる。グローバル化への対応とコミュニティの再想像 / 創造を迫られているこれらの社会において、暴力がどのように記憶され、社会空間や社会関係そして法的政治的制度がどのように再編されつつあるのかを実証的に探求するのが本研究の課題である。

## 2. 研究の目的

本研究においては、ネパール・インド・スリランカにおける大規模な暴力紛争後の、社

会再編の動態を次の三つの軸に沿って調査し記述分析する。

(1)「記憶と弔い」：集合的暴力の経験は、それをどのように認知し、言語化し、記念し、追悼し、共同体を再想像／創造するののかという問題を惹起する(e.g. Das 1997; Chatterji & Mehta

2007)。上述のようにスリランカでは LTTE 戦闘員の追悼は禁止されている。しかしここでも、例えばタミル人戦没者が神託者に憑依して、自らの痛みの認知を人々に迫るといったことが起こりうる(Derges 2013; Lawrence 2001)。またネパールやスリランカでは、政府軍と反政府軍双方による拉致被害者家族が、互いに経験を共有し連帯しつつある事例も見られる。本研究では、a)公的記憶、b)ヴァナキュラーな記憶（メディア等による表象）、c)私的な記憶、d)メタ記憶（記憶はどのようにあるべきかという議論）の四つのレベルの相互作用に着目しつつ（グラック 2002）、記憶・追悼の過程と共同体の再想像／創造の試みとの関連を、特に「国民」の境界づけの動きと、境界を超えた「痛み／悼みの共有」という動きの双方の視点から記述・分析する。

(2)「移行期の正義」：暴力紛争の後には、紛争において誰がどのような被害を蒙り、誰に責任があり、どのように補償するののかという法的・手続き的課題が生じる。ネパールでは「真実と和解委員会(TRC)」の設置が予定されている。スリランカでは「過去の教訓・和解委員会(LLRC)」が既に報告をまとめ、TRC の設置も予定されている。また、それ以外にも、インドを含む三国に共通して、通常の司法手続き、暴動調査委員会による調査・報告、選挙を通じた責任政党の政治的処罰、NGO など民間団体による救済と和解の試みなどがみられる。「移行期の正義」で重要なのは、暴力で分断された社会における複数の立場への配慮である。そこで求められるのは、「真実」の多面性や多義性に十分に目配りしつつ、コミュニケーションと交渉を通じて、複数の立場から納得できる合意と新たな秩序を作り出していくことだ。それは正義について妥協することではなく、いわばより深い正義を創り出していく過程である。そのために「移行期の正義」は文化・政治・法的な折衝の重要な場となる。本研究では、この過程を通じて様々なアクターがどのような「正義」や「回復」や「よりよい関係性」を希求しているのかを法社会学的・文化政治学的に探る。

(3)「復興と社会の再編」：復興のための経済・社会政策は、それが前望的である点において、

往々にして、過去と深くかかわる(1)(2)の問題系を捨象することとなりがちだ。しかし他方で、紛争で被害を蒙った個人や集団の多くが将来にわたる生活の向上を望むことも事実である。そこで重要なのは、「記憶と弔い」の文化政治的過程と、「移行期の正義」の法的・社会的交渉過程と、「復興」の政治経済的力学との連関と複合である。本研究では復興のための政策や様々な実践が、記憶や正義の問題系とどのような対抗、親和、妥協の関係を取り結ぶのか、その動態を明らかにする。ここでは質的調査とともに、量的・経済学的調査分析も行い、どのような条件のもとで、どの社会集団に経済的便益がもたらされるのかを分析する。

上記(1)(2)(3)の探求の成果を相互関連的に分析・総括することにより、紛争によって公共化された地域の問題はいかなるものであり、それを当該地域がどのように解決しようとしているのかを総合的に理解し、現代南アジアにおける紛争後の社会再編の動態を学際的に明らかにする。

### 3. 研究の方法

本研究が目標とする「総合的理解」とは、ポスト紛争社会を文化的、社会的、法的、政治経済的視点から「多面的」に描くということにとどまらず、それら一見、別々のものに見える課題がいかに深いレベルで関連し複合しているかを把握し、記述分析することである。例えば、紛争時には敵と味方に分かれていたもの同士が、同じ拉致被害者家族であるということによって連帯する場面が見られる。そこでは、家族の一員の生死が不明であるという「あいまいな喪失」と向きあうという「記憶と弔い」の問題系に関わる共同の模索と、被害者が納得できる法的手続きを希求するという「移行期の正義」に関わる共闘と、紛争前とは違う新たな集団性と社会性の創出という「社会の再編」が、連関的・複合的に起こっている可能性を探求することができる。本研究の計画と方法は、個々の研究者がそれぞれの具体的な研究課題の探求を、他の共同研究者の課題と比較参照し、有機的に連携しながら進めることによって、そのような連関と複合の把握を通じた総合的な理解を可能にすることである。

研究体制研究代表者1名、研究分担者8名、海外共同研究者5名、研究協力者4名の体制で行なう（研究協力者はPD 研究員や大学院生で構成し、次世代研究を準備する）。ネパール・インド・スリランカのそれぞれの地域で、それぞれの研究者が三つの問題系（記憶と弔い、移行期の正義、復興と社会の再編）のいずれかに関わる具体的な課題について調査する。それぞれの問題系と地域ごとに統括責任者を置き、各統括責任者（藤倉・田辺・中溝・内山田）と経済分担当（加藤）からなる総括班が全体の総括を担当する。

### 4. 研究成果

本研究においては、20世紀終盤から21世紀初頭にかけて、大規模な集団間暴力を経験したネパール、インド、スリランカを対象として、紛争後に社会がどのように再編されていくのかを、臨地調査にもとづいて記述・分析することを目的とした。その際（1）記憶と弔い；（2）移行期の正義；（3）復興と社会の再編、という三つの軸をたて、これら三つの軸と三つの調査対象地を有機的に関連付けながら研究を進める計画を立てた。研究代表者・分担者として、文化人類学、政治学、経済学を専門とする研究者が参加した。それぞれの地域での臨地調査を通じて、記述・分析を行うとともに、2015年のキックオフ研究会に始まり、2106年クロアチアで行われた国際人類学会での発表、AAS-in-Asia（京都）でのパネル、カトマンズでのワークショップ、2018年のカトマンズでの国際シンポジウムなどを含む、国内・国外での研究会や学会発表、シンポジウムには、研究代表者・分担者のみならず、ネパール、スリランカ、インド、バングラデシュ、パキスタンを始めとするさまざまな国の研究者や人権活動家、ジャーナリストなども参加し、議論を重ね、発展させてきた。2015年にネパールで発生した大規模な地震の後には、ポスト災害期に顕在化する社会的紛争の様相も視野に入れ、ポスト災害/紛争期の社会の再編というより拡大した枠組みでの議論を行ってきた。この研究の成果として多くの論文がすでに出版されているほか、2018年のカトマンズにおける「平和的発展」についてのシンポジウムにおける議論を発展させた英文論集が近く出版される予定である。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計69件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Atsushi Kato, Atsushi Fukumi	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Clientelism and T&D Loss of Electricity: A Political Economy Analysis of Indian Regional States	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of South Asian Development	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Atsushi Kato, Atsushi Fukumi	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Business-Friendly Policy by Indian State Governments: A Political Economy Analysis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Accelerators of India's Growth: Industry, Trade and Employment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Atsushi Kato, Takahiro Sato	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 Violent Conflicts and Economic Performance of the Manufacturing Sector in India	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 -	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 湊 一樹	4. 巻 -
2. 論文標題 「非政党選挙管理政府制度と政治対立 バングラデシュにおける民主主義の不安定性」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 川中豪編『後退する民主主義 強化される権威主義』ミネルヴァ書房	6. 最初と最後の頁 71-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 湊 一樹	4. 巻 -
2. 論文標題 「南アジアの貧困」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際開発学事典編集委員会編『国際開発学事典』丸善出版	6. 最初と最後の頁 294-295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田辺 明生	4. 巻 -
2. 論文標題 「第三章 グローバル市民社会-方法としての主体、可能性としての他者」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 山室信一・岡田暁生・小関隆・藤原辰史編『われわれはどんな「世界」を生きているのか-来るべき人文学のために』	6. 最初と最後の頁 45-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田辺 明生	4. 巻 -
2. 論文標題 「南アジアの歴史人類学」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 山室信一編『人文学宣言』	6. 最初と最後の頁 190-193
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田辺 明生	4. 巻 -
2. 論文標題 「第9章 独立後インドの社会と文化」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 長崎暢子編『世界歴史大系 南アジア史4 近代・現代』	6. 最初と最後の頁 290-325
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田辺 明生	4. 巻 -
2. 論文標題 「生き延びてあることの了解不能性から、他者とのつながりの再構築へ-----インド・パキスタン分離独立時の暴力の記憶と日常生活」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 田中雅一・松嶋健編『トラウマ研究1 ト라우マを生きる』	6. 最初と最後の頁 495-520
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田辺 明生	4. 巻 -
2. 論文標題 「インド・オリッサ州におけるトライブとダリット-マイノリティ集団間関係を考える」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 マイノリティ研究会ニュース	6. 最初と最後の頁 24-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akio Tanabe	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 "Vernacular Democracy and Politics of Relationships: A Subaltern Perspective on Contemporary India"	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Calcutta Journal	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 363
2. 論文標題 「戸惑いと嘘 (3) 舞台上の涙 2」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 364
2. 論文標題 「戸惑いと嘘(4) 舞台上の涙3」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 365
2. 論文標題 「戸惑いと嘘(5) コタンタン半島のシュールな自然1」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 366
2. 論文標題 「戸惑いと嘘(6) コタンタン半島のシュールな自然2」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 367
2. 論文標題 「戸惑いと嘘(7) コタンタン半島のシュールな自然3」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 内山田 康	4. 巻 368
2. 論文標題 「戸惑いと嘘(8)曖昧にしたまま進む1」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 369
2. 論文標題 「戸惑いと嘘(9)曖昧にしたまま進む2」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 370
2. 論文標題 「戸惑いと嘘(10)曖昧にしたまま進む3」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 371
2. 論文標題 「戸惑いと嘘(11)曖昧にしたまま進む4」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 372
2. 論文標題 「戸惑いと嘘(12) 幕間「私は私に追いつかない」」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 373
2. 論文標題 「戸惑いと嘘(13) 境界の浸透性 1」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 374
2. 論文標題 「戸惑いと嘘(14) 境界の浸透性 2」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 375
2. 論文標題 「戸惑いと嘘(15) 境界の浸透性 3」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 376
2. 論文標題 「戸惑いと嘘(16) 海辺を歩く 1」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 377
2. 論文標題 戸惑いと嘘(17) 海辺を歩く 2	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 378
2. 論文標題 戸惑いと嘘(18) 海辺を歩く 3	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田 康	4. 巻 379
2. 論文標題 戸惑いと嘘(19) ホロピオントの海 1	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日々の新聞	6. 最初と最後の頁 2-3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本 達也	4. 巻 -
2. 論文標題 「「作る」と「パくる」の狭間で-チベタン・ポップをめぐる権利言説と実践から見る難民社会の今」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 チベット・ヒマラヤ文明の歴史的展開	6. 最初と最後の頁 175-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中溝 和弥	4. 巻 -
2. 論文標題 「格差と開発 - インド・ピハール州における2014年下院選挙と2015年州議会選挙 - 」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『人間文化研究機構 (NIHU) プロジェクト地域研究推進事業南アジア地域研究京都大学中心拠点研究グループ2 成果報告集 南アジアにおける民主政治と国際関係』	6. 最初と最後の頁 48-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村 沙絵	4. 巻 -
2. 論文標題 「「健康格差」からみるスリランカ社会 医療行政の展開に着目して 」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 NIHU事業南アジア地域研究京都大学中心拠点研究グループ2成果報告集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤倉達郎	4. 巻 -
2. 論文標題 何に包摂されるのか - ポスト紛争期のネパールにおけるマデシとタルーの民族自治要求運動をめぐって	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 名和克郎編 『体制転換期ネパールにおける「包摂」の諸相 言説政治・社会実践・生活世界』三元社	6. 最初と最後の頁 233-256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤倉達郎	4. 巻 -
2. 論文標題 社会運動を書く	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 インド文化事典編集委員会編『インド文化事典』、丸善出版	6. 最初と最後の頁 318-319
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤倉達郎	4. 巻 -
2. 論文標題 ネパール総選挙 - 「安定と繁栄」への期待	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『外交』Vol. 47、Jan/Feb	6. 最初と最後の頁 60-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤篤史	4. 巻 85巻4号
2. 論文標題 インドの社会システムは変化してきたか：地主層の政治的影響力の検証	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済志林	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤篤史	4. 巻 2017-1
2. 論文標題 Industrialization Policy by Indian State Governments: A Political Economy Explanation.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Waseda University Institute of Asia-Pacific Studies WIAPS Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 湊一樹	4. 巻 -
2. 論文標題 Bangladeshにおける司法の独立と憲法改正――憲法第16次改正をめぐる論争を中心に――	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 湊一樹編『Bangladeshにおける政治と司法の独立』調査研究報告書 アジア経済研究所	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田辺 明生	4. 巻 -
2. 論文標題 Spirituality as the Source of Human Creativity: Insights from India.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Kyoto Manifesto for Global Economics: The Platform of Community, Humanity, and Spirituality.	6. 最初と最後の頁 179-193
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田辺 明生	4. 巻 -
2. 論文標題 幸福追求の支えとしてのダルマ--秩序の再構築過程に注目して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 -	6. 最初と最後の頁 255-276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田辺 明生	4. 巻 -
2. 論文標題 Conditions of 'Developmental Democracy: New Logic of Inclusion and Exclusion in Globalizing India	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Rethinking Social Exclusion in India: Castes, Communities and the State.	6. 最初と最後の頁 11-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田協太	4. 巻 -
2. 論文標題 Vernacuralization of Architecture Planning:Towards Basic Theory for Dwelt Environment Design,	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 in Rajapaksha.Upendra, et al (eds), Proceedings of the 10th International Conference of Faculty of Architecture Research Unit	6. 最初と最後の頁 361-372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山田康	4. 巻 46号
2. 論文標題 戸惑いと嘘：福島第一原発と羅・アグ再処理工場の近くで真実について考える	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 歴史人類	6. 最初と最後の頁 73-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本達也	4. 巻 40
2. 論文標題 Lyrics Matter: Reconsidering Agency in the Discourses and Practices of Tibetan Pop Music among Tibetan Refugees	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Revue d'Etudes Tib&eacute;taines	6. 最初と最後の頁 126-152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本達也	4. 巻 -
2. 論文標題 民族自治と完全独立、そしてその狭間-チベット難民の今	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 木村真希子ほか編『先住民からみる現代世界-わたしたちの<あたりまえ>に挑む』昭和堂	6. 最初と最後の頁 118-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本達也	4. 巻 -
2. 論文標題 「作る」と「パくる」の狭間で-チベタン・ポップをめぐる権利言説と実践から見る難民社会の今	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 チベット・ヒマラヤ文明の歴史的展開 臨川書店	6. 最初と最後の頁 175-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村沙絵	4. 巻 -
2. 論文標題 「多民族」状況を生きるスリランカのムスリムたち	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『アジアに生きるイスラーム』 イースト・プレス	6. 最初と最後の頁 282 - 303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村沙絵	4. 巻 -
2. 論文標題 高齢者福祉	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 インド文化事典編集委員会編 『インド文化事典』、丸善出版	6. 最初と最後の頁 102-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村沙絵	4. 巻 -
2. 論文標題 スリランカの映画事情	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 インド文化事典編集委員会編 『インド文化事典』、丸善出版	6. 最初と最後の頁 547
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 中溝和弥	4. 巻 -
2. 論文標題 The Nation-States and Exclusion of Minorities in India: The Case of Gujarati Muslims	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mio, Minoru and Abhijit Dasgupta (eds), Rethinking Social Exclusion in India: Caste, Communities and the State, London, Routledge	6. 最初と最後の頁 53-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中溝和弥	4. 巻 -
2. 論文標題 Democracy and Vigilantism in India: New Phase of Hindutva	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Proceedings for '70 Years of Independence: India in Asia' Special International Conference on 70 Years of Independence of India and 43rd Regular Conference of Korean Society for Indian Studies	6. 最初と最後の頁 179-188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中溝和弥	4. 巻 -
2. 論文標題 民主主義	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 杉本良男・インド文化事典編集委員会編『インド文化事典』丸善出版	6. 最初と最後の頁 26-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中溝和弥	4. 巻 -
2. 論文標題 カーストと政治	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 杉本良男・インド文化事典編集委員会編『インド文化事典』丸善出版	6. 最初と最後の頁 52-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中溝和弥・南真木人	4. 巻 -
2. 論文標題 マオイスト	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 杉本良男・インド文化事典編集委員会編『インド文化事典』丸善出版	6. 最初と最後の頁 302-303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中溝和弥	4. 巻 -
2. 論文標題 SAARC	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 杉本良男・インド文化事典編集委員会編『インド文化事典』丸善出版	6. 最初と最後の頁 6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤篤史・佐藤隆広	4. 巻 DP2016-01
2. 論文標題 Violent Conflicts and Economic Performance of the Manufacturing Sector in India	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 神戸大学経済経営研究所Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤則夫・湊一樹	4. 巻 -
2. 論文標題 「2014年のインド 第16次連邦下院選挙とナレンドラ・モディ政権の成立」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『アジア動向年報 2015』	6. 最初と最後の頁 537 - 559
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 湊 一樹	4. 巻 -
2. 論文標題 「第9章 制度」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 黒岩郁雄・高橋和志・山形辰史編 『テキストブック開発経済学 第3版』	6. 最初と最後の頁 135 - 150
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 湊 一樹	4. 巻 -
2. 論文標題 「バングラデシュの民主主義の不安定性 非政党選挙管理政府制度をめぐる対立を中心に」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 川中豪編 『発展途上国における民主主義の危機』 調査研究報告書 アジア経済研究所	6. 最初と最後の頁 37-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 協太	4. 巻 196
2. 論文標題 「近代仏教建築の東アジア - 南アジア往還」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 大澤広嗣編, 『アジア遊学 特集「仏教をめぐる日本と東南アジア地域」』	6. 最初と最後の頁 87-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 協太	4. 巻 3
2. 論文標題 「コロンボ (スリランカ) 下町での地域学習施設開設プロジェクト 日常のデザイン行為から地域居住環境を考える」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 谷川竜一, 原正一郎編, 『相関地域研究 第3巻 協奏するジャスティス』	6. 最初と最後の頁 186-211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 協太	4. 巻 1
2. 論文標題 「第2章メガシティとその出現経緯 第3節メガシティの居住環境の進化と共通性・多様性」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 村松伸, 加藤浩徳, 森宏一郎編, 『シリーズ メガシティ 第1巻メガシティとサステナビリティ』	6. 最初と最後の頁 71-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村松伸, 深見奈緒子, 山田協太, 内山愉太編著	4. 巻 2
2. 論文標題 『シリーズ メガシティ 第2巻メガシティの進化と多様性』	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『シリーズ メガシティ 第2巻メガシティの進化と多様性』	6. 最初と最後の頁 131-219、その他
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kyota Yamada	4. 巻 -
2. 論文標題 Buddhist Practices and Temple Architecture in Urban Sri Lanka	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Kobayashi Satoru, Hayashi Yukio, Sasagawa Hideo and Takahashi Miwa eds., Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space	6. 最初と最後の頁 197-224
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 協太	4. 巻 9
2. 論文標題 「フラグメンテーションと出会いのインド洋 ナゴール・ダルガーをめぐる考察」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 深見奈緒子, 山田協太編, 『NIHU Research Series of South Asia and Islam 9 南アジアの都市と建築に見るイスラームの諸相』,	6. 最初と最後の頁 67-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 協太	4. 巻 -
2. 論文標題 「近代仏教建築から見る南アジア～東アジアの交流と都市景観形成」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『シンポジウム「近代建築史の最先端」第十一回論文集 東アジア近代建築史研究の回顧と展望 『東アジアの近代建築』から30年』	6. 最初と最後の頁 29-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 協太	4. 巻 -
2. 論文標題 「近代仏教建築のつくる都市景観から見るコロンボとアジアの都市間ネットワーク」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『東南アジア学会第95回研究大会 報告要旨集 (第2日)』	6. 最初と最後の頁 42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kyota YAMADA	4. 巻 -
2. 論文標題 Capturing from Human Activities the Multiscale Dynamisms of Dwelt Environment	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Symposium "ARCHITECTURAL AND PLANNING CULTURES ACROSS REGIONS: DIGITAL HUMANITIES COLLABORATION TOWARDS KNOWLEDGE INTEGRATION"	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本 達也	4. 巻 40 (2)
2. 論文標題 かたちを変えていく歌詞 - チベット難民社会におけるチベタン・ポップの作詞実践を事例に」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『国立民族学博物館研究報告』	6. 最初と最後の頁 311-347
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村 沙絵	4. 巻 -
2. 論文標題 「剥き出しの生が媒介する共同性 スリランカの老人居住施設における老いと看取りの現場から考える」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 田中雅一・石井美保編著『インド・剥き出しの世界』	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計67件 (うち招待講演 12件 / うち国際学会 18件)

1. 発表者名 Tatsuro Fujikura
2. 発表標題 "State Restructuring, Communities and the Practices of Mediation in Nepal and Beyond"
3. 学会等名 Department of Sociology, Sikkim University (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tatsuro Fujikura
2. 発表標題 "State Restructuring, Communities and the Practices of Mediation in Nepal and Beyond"
3. 学会等名 Department of Political Science, Himachal Pradesh University (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤 篤史
2. 発表標題 "Industrialization Policy by Indian State Governments: A Political Economy Explanation"
3. 学会等名 日本南アジア学会第 31 回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 湊 一樹
2. 発表標題 "Do Democracies Decline in Asia?"
3. 学会等名 アジア政経学会秋季大会（新潟大学五十嵐キャンパス）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Tanabe
2. 発表標題 "Democracy and Development in Tension: Predicament of Politico-economic Stalemate among the Dongria Khonds in Odisha, India"
3. 学会等名 International Workshop : Rethinking Development: Network, Brokers and Devotion (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Tanabe
2. 発表標題 "Recent Socio-economic Changes in Niyangiri Region in Odisha, India: With Special Attention to Scheduled Tribes and Scheduled Castes"
3. 学会等名 International Workshop : New Stage of South Asian Agriculture and Rural Economies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 「日印知的交流の歴史と現代的意義」
3. 学会等名 第一回シンポジウム「日印交流の現状と展望 - プラットフォーム構築に向けて」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 「インド文明とアフロユーラシア - エジプトとの比較」
3. 学会等名 講演会「エジプトと“環ユーラシア文明”」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 「多様性社会としてのインド - 南アジア型発展径路を考える」
3. 学会等名 シンポジウム「インドの価値観と社会構造 - 日本と西洋との比較研究」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 「部族民と不可触民 インドにおける差別の諸形態」
3. 学会等名 人文研アカデミー2018「人種神話を解体する 可視性と不可視性のはざまで (In) Visibility」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 「インド史への視座 - 多様性の統合」
3. 学会等名 インド史
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Uchiyamada Yasushi
2. 発表標題 "Why live with Nuclear Wastes? La Hague, Sellafield and Fukushima"
3. 学会等名 Wasted Matter -- Wasted Lives (International Symposium in Applied Humanities) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuya Nakamizo
2. 発表標題 "Violence and Identity Formation: Religious and Caste Identities in Bihar, India"
3. 学会等名 Ethnicity, Religion, Conflict and Violence in Postcolonial South and Southeast Asia: A Comparative, Interdisciplinary Study
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuya Nakamizo
2. 発表標題 "Melting Democracy: Strong State and Vigilantism in India"
3. 学会等名 2018年度アジア政経学会秋季大会共通論題「アジアで民主主義は後退しているか Do Democracies Decline in Asia?」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuya Nakamizo
2. 発表標題 "Understanding Vigilante Justice: The New Strategy of Hindutva Forces"
3. 学会等名 Seminar organized by South Asian Studies Programme and Department of Political Science, Faculty of Arts & Social Sciences
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuya Nakamizo
2. 発表標題 "Vigilantism and the making of 'New India': Changing Strategies for Hindutva"
3. 学会等名 25TH EUROPEAN CONFERENCE ON SOUTH ASIAN STUDIES (ECSAS)PARIS, Panel 37 'Majoritarian Politics and Vigilante Justice in India (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村 沙絵
2. 発表標題 "Destitution in Old Age: Living through Asymmetrical Relationship"
3. 学会等名 The 10th INDAS-South Asia International Conference, "Inclusive Development in South Asia"
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村 沙絵
2. 発表標題 "Bodily sensations and ethical relations: A reflection on the sensuous interaction between care-givers and dying residents at a home for elders in Sri Lanka"
3. 学会等名 日本南アジア学会第31回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村 沙絵
2. 発表標題 「老年期の不調に対する非専門家によるケア実践とコミュニケーション スリランカの事例から」
3. 学会等名 第10回日本ヘルスコミュニケーション学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤倉達郎
2. 発表標題 Communities and Mediation in Post-conflict Nepal.
3. 学会等名 Symposium on Peaceful Development in South Asia, Organized by INDAS-South Asia Project and Martin Chautari
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤倉達郎
2. 発表標題 ネパールの水資源とわたしの関わり
3. 学会等名 ロータリー京都東支部月例会レクチャー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 加藤篤史
2. 発表標題 経済発展の政治経済学的分析：利益集団と州レベルの電力政策
3. 学会等名 京都大学現代インド研究センター「南アジアにおける民主政治と国際関係」研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 加藤篤史
2. 発表標題 Violent Conflicts and the Economic Performance of Manufacturing Sector: Indian Regional State Level Analysis
3. 学会等名 2017International Symposium on Development Cooperation and Evaluation
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 Anti-Racism and Spiritual Universalism: Connection and Diversion of Transnational Nationalisms of Japan and India in the Late Nineteenth and Early Twentieth Centuries
3. 学会等名 International Seminar on Race and Racism
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 Is there a South Asian path of development? Comparative attempts on shapes of Asia
3. 学会等名 Shaping Asia/s Connectivities, Comparisons, Collaborations (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 Forms of Racialization in Odisha, India: Projecting Anxieties of Globalization onto the Marginalized
3. 学会等名 116th Annual Meeting of American Anthropological Association
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 Genealogies of 'Paika Rebellion': Heterogeneities and Linkages
3. 学会等名 Invited Key Speaker at National History Symposium 'Paika Rebellion: A Forgotten Era of Indian Freedom Struggle' (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 Vernacular democracy and politics of relationships: A subalternate perspective on contemporary India
3. 学会等名 Department of Political Science
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田辺 明生
2. 発表標題 Locating Odisha and Japan in the World
3. 学会等名 Invited Chief Speaker at University Seminar (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山田協太
2. 発表標題 インド洋港市ネットワークの近代：コロンボの歴史地区から眺める
3. 学会等名 地球文明学会, 京都大学東南アジア地域研究研究所
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 内山田康
2. 発表標題 Umwelt / Life-world after the nuclear accident in Fukushima and beyond
3. 学会等名 Institute of Ethiopian Studies/ Kyoto University Liaison Office Addis, Ababa University
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 内山田康
2. 発表標題 Tibetan Refugees Encountering Multiple Actors
3. 学会等名 10th International Conventions of Asian Scholars、the Chiang Man International Exhibition and Convention Centre
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村沙絵
2. 発表標題 Does Charity Wound?: Micro Analysis of Interaction among
3. 学会等名 International Centre for Ethnic Studies (ICES) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村沙絵
2. 発表標題 Communicative Body: An Ethnography of Old Age People's Home in Sri Lanka
3. 学会等名 Monthly Academic Circle of Department of Social Studies, Open University of Sri Lanka (OUSL) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村沙絵
2. 発表標題 スリランカ国内における家事使用人の研究に向けた予備的考察：準家族的な立場からの介護・養育実践に着目して
3. 学会等名 KINDAS (NIHUプロジェクト南アジア地域研究・京都大学拠点) 研究グループ2 第二回研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村沙絵
2. 発表標題 施設での老後を支える関係性：スリランカ西南部シンハラ社会の事例から
3. 学会等名 第40回スリランカ研究フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村沙絵
2. 発表標題 医療人類学のレンズで症例検討会（コメント）
3. 学会等名 プライマリケア連合学会第4回年次フォーラム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村沙絵
2. 発表標題 書評 梅村絢美著『沈黙の医療 スリランカ伝承医療における言葉と診療』
3. 学会等名 TINDAS（NIHUプロジェクト南アジア地域研究・東京大学拠点）書評会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村沙絵
2. 発表標題 「元・人間」・死にゆくパーソン・ケアの関係倫理
3. 学会等名 現代日本における「看取り文化」の再構築に関する人類学的研究 民博共同研究会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村沙絵
2. 発表標題 スリランカ お布施が支える地域の老後
3. 学会等名 妙心寺・吉祥院 メダカの学校
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中溝和弥
2. 発表標題 Democracy and Vigilantism in India: New Phase of Hindutva
3. 学会等名 '70 Years of Independence: India in Asia' Special International Conference on 70 Years of Independence of India and 43rd Regular Conference of Korean Society for Indian Studies (Inc.)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中溝和弥
2. 発表標題 Vigilantism in India: New Type of Majority Tyranny
3. 学会等名 2018 January INDAS-South Asia/Martin Chautari International Symposium "Peaceful Development of South Asia"
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中溝和弥
2. 発表標題 Politics of Vigilance in India
3. 学会等名 2017年度INDAS国際シンポジウム 第2回準備研究会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 中溝和弥
2. 発表標題 インド・パキスタンにおける政治体制の歴史的起源
3. 学会等名 慶應義塾大学次世代研究プロジェクト推進プログラム「アジアにおける権威主義体制の歴史的起源」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中溝和弥
2. 発表標題 自由論題6 「インドとミャンマー」司会兼討論
3. 学会等名 2017年度アジア政経学会秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中溝和弥
2. 発表標題 部会15 自由論題部会「ユーラシア・中央アジアの外交と秩序」司会兼討論
3. 学会等名 2017年度国際政治学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤倉 達郎
2. 発表標題 「ポスト紛争に関する問題群」
3. 学会等名 ポスト紛争期における社会の再編第一回研究会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 藤倉 達郎
2. 発表標題 「インスタントラーメンの人類学に向けて」
3. 学会等名 Design Visions 京都大学デザイン学大学院連携プログラム（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 加藤篤史・佐藤隆広
2. 発表標題 Violent Conflicts and Economic Performance of the Manufacturing Sector in India
3. 学会等名 2015年度国際開発学会全国大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 湊 一樹
2. 発表標題 「バングラデシュにおける民主主義の不安定性 非政党選挙管理政府（NCG）制度を中心に」
3. 学会等名 2015年度KINDAS第2回研究会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 湊 一樹
2. 発表標題 「バングラデシュにおける民主主義の不安定性 非政党選挙管理政府（NCG）制度を中心に」
3. 学会等名 アジア経済研究所「発展途上国の民主主義の危機」第4回研究会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Akio Tanabe
2. 発表標題 Socio-Economic Structure of the Local Community in Orissa in the Early Modern Period
3. 学会等名 International Symposium on Economic History (Inaugural Symposium celebrating the Collaboration of Indo-Japan Historical Studies) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Akio Tanabe
2. 発表標題 Vernacular democracy and politics of relationships: A subalternate perspective on contemporary India
3. 学会等名 Rethinking Religion, Ethics, and Political Economy in India and Sri Lanka: Critical perspectives from Japan Workshop (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山田 協太
2. 発表標題 「近代仏教建築から見る南アジア～東アジアの交流と都市景観形成」
3. 学会等名 『シンポジウム「近代建築史の最先端」第十一回論文集 東アジア近代建築史研究の回顧と展望 『東アジアの近代建築』から30年』
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 山田 協太
2. 発表標題 「近代仏教建築のつくる都市景観から見るコロンボとアジアの都市間ネットワーク」
3. 学会等名 東南アジア学会第95回研究大会 パネル7 都市誌の可能性 都市を地域研究するとは？
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kyota YAMADA
2. 発表標題 Capturing from Human Activities the Multiscale Dynamics of Dwelt Environment
3. 学会等名 International Symposium "ARCHITECTURAL AND PLANNING CULTURES ACROSS REGIONS: DIGITAL HUMANITIES COLLABORATION TOWARDS KNOWLEDGE INTEGRATION" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasushi Uchiyamada
2. 発表標題 A becoming Goddess: Neither hierarchy, nor gentrification, then what is it?
3. 学会等名 Seminaire TES Anthropologie: Temps, Espace, Societes (ADESS/ CNRS) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yasushi Uchiyamada
2. 発表標題 A processual approach to sacred placiality in India
3. 学会等名 Seminaire TES Anthropologie: Temps, Espace, Societes (ADESS/ CNRS) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yasushi Uchiyamada
2. 発表標題 A becoming approach to divinity and caste in India
3. 学会等名 Seminaire TES Anthropologie: Temps, Espace, Societes (ADESS/ CNRS) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yasushi Uchiyamada
2. 発表標題 Tsunami et accident nucleaire de la cote Pacifique du Tohoku. Capacite de l'anthropologie a suivre et a decrire des evenement emergents
3. 学会等名 Seminaire PASSAGES (CNRS) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasushi Uchiyamada
2. 発表標題 Les perils perceptibles et imperceptibles: tsunami, contamination radioactives et signes
3. 学会等名 Metaphore(s): L'enonciation metaphorique en situation (Langues et civilisation a tradition orale, CNRS) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tatsuya Yamamoto
2. 発表標題 Selling Healing: A Case study of Tibetan chanting Cd production in Kathmandu
3. 学会等名 9th International Convention of Asian Scholars (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 NAKAMURA, Sae
2. 発表標題 Sensibilities towards suffering and care relationships: An examination of narratives and daily practices of old-age home residents in southwest coast of Sri Lanka
3. 学会等名 2015 Annual Conference of IUAES (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 NAKAMURA, Sae
2. 発表標題 Ethics of vulnerability: Care of the dying in old folk 's home in Sri Lanka
3. 学会等名 1st AIBR International Conference of Anthropology ( 国際学会 )
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 NAKAMURA, Sae
2. 発表標題 Rethinking the Ethics of Care for the Dying: An ethnographic case study of a Sri Lankan institution
3. 学会等名 2015 INDAS-UCB International Conference ( 国際学会 )
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中村 沙絵
2. 発表標題 「 老いと扶養をめぐる臨床的現実とその社会文化的文脈 スリランカ・シンハラ社会の事例から 」
3. 学会等名 KINDAS第1回セミナー ( 国際学会 )
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 中村 沙絵
2. 発表標題 「 内戦終結後のスリランカ社会 」
3. 学会等名 KINDAS研究グループ2 2015年度第3回研究会 ( 国際学会 )
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 ゴウリ・ヴィシュワナートン、三原芳秋、田辺明生、常田夕美子、新部亨子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 みすず書房	5. 総ページ数 464
3. 書名 『異議申し立てとしての宗教』	

1. 著者名 Yamamoto Tatsuya (担当:共編者, 範囲:Introduction, Chapter 4, Conclusion)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 222
3. 書名 "Law and democracy in Contemporary India: Constitution, Contact Zone, and Performing Rights"	

1. 著者名 中村 沙絵 (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 -
3. 書名 『インド・剥き出しの世界』 ( 範囲:第3章 剥きだしの生が媒介する共同性 スリランカの老人居住施設における老いと看取りの現場から考える )	

1. 著者名 中溝和弥・中村沙絵・拓徹編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属「南アジア研究センター」	5. 総ページ数 -
3. 書名 『人間文化研究機構 (NIHU) プロジェクト地域研究推進事業南アジア地域研究京都大学中心拠点研究グループ2 成果報告集 南アジアにおける民主政治と国際関係』	

1. 著者名 ジェームズ・C・スコット、清水展・日下渉・中溝和弥訳	4. 発行年 2017年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 216
3. 書名 実践 日々のアナキズム 世界に抗う土着の秩序の作り方	

1. 著者名 藤倉 達郎	4. 発行年 2015年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 207-230
3. 書名 「開発、人民戦争、連邦制ー西ネパール農村部での経験から」、南真木人、石井溥（編）『現代ネパールの政治と社会 民主化とマオイストの影響の拡大』	

1. 著者名 アマルティア・セン、ジャン・ドレーズ(著)、湊一樹(訳)	4. 発行年 2015年
2. 出版社 明石書店(原著: Allen Lane)	5. 総ページ数 564
3. 書名 『開発なき成長の限界 現代インドの貧困・格差・社会的分断』(原著: An Uncertain Glory: India and Its Contradictions)	

1. 著者名 Crispin Bates, Akio Tanabe and Minoru Mio eds	4. 発行年 2015年
2. 出版社 London: Routledge	5. 総ページ数 189
3. 書名 Human and International Security in India (査読付き)	



1. 著者名 バルタ・チャタジー著 田辺明生・新部亨子	4. 発行年 2015年
2. 出版社 世界思想社	5. 総ページ数 303
3. 書名 統治される人びとのデモクラシー サバルタンによる民衆政治についての省察（査読なし）	

1. 著者名 中村 沙絵	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 313
3. 書名 『饗応する身体 スリランカの老人施設ヴァディヒティ・ニヴァーサの民族誌』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	加藤 篤史 (Kato Atsushi)  (00286923)	早稲田大学・国際学院(アジア太平洋研究科)・教授  (32689)	
研究分担者	湊 一樹 (Minato Kazuki)  (00450552)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・地域研究センター南アジア研究グループ・研究員  (82512)	
研究分担者	田辺 明生 (Tanabe Akio)  (30262215)	東京大学・大学院総合文化研究科・教授  (12601)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	山田 協太 (Yamada Kyota)  (40434980)	筑波大学・芸術系・准教授  (14301)	
研究分担者	内山田 康 (Uchiyamada Yasushi)  (50344841)	筑波大学・人文社会系・教授  (12102)	
研究分担者	山本 達也 (Yamamoto Tatsuya)  (70598656)	静岡大学・人文社会科学部・准教授  (13801)	
研究分担者	中村 沙絵 (Nakamura Sae)  (80751205)	京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・准教授  (14301)	
研究分担者	中溝 和弥 (Nakamizo Kazuya)  (90596793)	京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授  (14301)	